

施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

総合計画 政策の柱	市民の学び意欲と 豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策 名)	信頼される学校教育を推進する	取組の 基本方向	「信頼される学校教育を推進する」ため、確かな学力を身に付けた児童生徒を育成するための「学力向上の推進」、心身ともにたくましい児童生徒を育成するための「豊かな人間性と健やかなからだの育成」、信頼性の高い、特色と魅力ある学校づくりのための「地域と連携した独自性のある学校経営の推進」、教育施設の安全性・快適性を高めるための「教育環境の充実」、特別な支援を必要とする児童生徒に適切な教育を提供するための「特別支援教育の充実」、教職員の資質・専門性の向上を図るための「高い指導力と情熱をもつ教職員の育成」、生涯にわたる人間形成の基礎を培うための「幼児教育の充実」、市民の自己実現の一翼を担う「高校、高等教育の充実」に、重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	信頼される学校教育が推進され、児童生徒が、充実した学校生活を送っています。	担当課	学校健康課
--------------	--------------------------	--------------------	----------------	-------------	--	------------------	---------------------------------------	-----	-------

2 施策の現状と達成状況，課題の抽出

①施策名	豊かな人間性と健やかなからだの育成		④施策の達成状況	施策指標(単位)		H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	達成率 (%)	
	②施策目標			いじめの解消率		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値		
	③施策を 取巻く環境			国・県等の 動向	いじめの解消率		93.8	94.0	98.3	97.4	95.0	96.0	101.5%
	外部意見 その他			「食育基本法」の制定、「第2次食育推進基本計画」の策定、「青少年インターネット環境整備法」の施行など、様々な取組みがなされている。		新体力テスト総合評価のA段階の割合 (中学校3年生)※新体力テストはA ~Eの5段階で評価されている		13.9	15.4	17.87	19.50	19.85	
	外部意見 その他			少子化や核家族の進行に伴う地域の連帯感の希薄化などにより、家庭・地域社会での教育機能が低下する中で、食事マナーの低下や体力の低下、不登校児童生徒の増加などの問題が顕在化しており、更なる対応が求められている。		新体力テスト総合評価のD段階以上の 割合(中学校3年生)		94.29	94.43	95.15	95.68	95.88	99.2%
外部意見 その他				指標④ (特記事項)							-----		

  

市民の 施策満足 度	22.0%	市民の 施策重要 度	78.3%	達成度 (単年度目標)	● 達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	単年度の目標値と比較して、9割以上達成している。		
⑤市民意識調査結果	優先して力を入れていく ことが求められる領域		今後力を入れていく ことが求められる領域		⑥施策の評価	必要性・緊急性 (住民・社会ニーズ)	● 増加している	横ばい	減少している	説明	施策「豊かな人間性と健やかなからだの育成」については、社会的ニーズが高い。
	見直し・効率化が 求められる領域		重点的な取組が一段落 したと考えられる領域			適切性 (適切な事務事業 の選択、実施)	● 十分である	不十分な事業が 一部ある	不十分な事業が 複数ある	説明	個々の事務事業の進捗もおおむね良好であり、施策全体として十分である。
	低		高			有効性 (政策目標への効果)	● 十分である	やや不十分である	不十分である	説明	施策の効果は高く、市民の施策満足度も昨年度から5ポイント上昇しているが、更なる事業の充実や実績の積極的なPRなどを検討する必要がある。

  

⑦現状分析と課題の抽出 (③⑤⑥を)	成果が見られる点	健やかなからだの育成のための食育事業や体力向上事業等については、目標は概ね達成しており、新体力テスト総合評価A段階の割合の増加などの効果が見られた。いじめゼロ運動や児童生徒指導など豊かな人間性育成のための事業については、いじめの解消率が高くなるなど一定の成果が上がっている。
	改善の必要な点	お弁当の日や元気っ子プロジェクトなどの取り組みについて適切な進行管理と評価を行うとともに、自校炊飯の拡大に伴う関係機関との調整、食事マナー指導の充実、部活動推進のための地域指導者の確保などに取り組む必要がある。携帯電話の使用に係る問題が顕在化するなど社会環境の変化に伴う新たな問題への対応を講じる必要がある。

3 今後の取組方針

取の	総論	「豊かな人間性と健やかなからだの育成」は、学校教育の原点ともいえる施策であり、次世代を担う宮っ子育成のためにも必要不可欠な重要施策である。また、社会環境の変化に伴い、新たな対応が求められる施策でもあることから、状況やニーズ把握に努め、各事業の効果を検証しながら既存事業の見直しや新たな事業展開を検討し、食育や体力向上、児童生徒指導の充実に取り組む必要がある。	策評 意
	重点事業	豊かな心や社会性を高める取組を推進し、たくましい心身を育てる指導を充実するため、学校教育における食育推進事業、うつのみや元気っ子プロジェクトの推進、部活動の推進、いじめゼロ運動の実施、「宮っ子すくすくノーケータイプラン」の推進、教育相談事業、心の教育推進事業、施設の整備推進を含めた適応支援教室事業を重点事業と位置づけている。	
	見直し事業	自校炊飯校の計画的な整備に伴う委託炊飯校の減少により米飯給食事業補助金を抑制していく。交通事故防止の推進については、ランドセルカバー配布の公費負担を改め民間の協力を得て事業を推進する。給食費滞納対策事業については、学校との関係が希薄となる卒業生の過年度分の滞納を教育委員会が管理する。	

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H21	H22	H21	H22	重点度 (A~C) ※施策目標 に対する 寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
1	食育推進事業：「お弁当の日」の推進 担当課 学校健康課	宇都宮市立小・中学校に通う児童生徒、保護者	H20	「お弁当の日」実施回数(回/校)	1	1	0	0	A		事業実施から3年が経過し、食事について親子で共に考える機会として各学校での取組みが定着してきたところだが、さらに子どもたちの食への関心を高めるとともに、感謝の心を育てていくために、学校栄養士等と連携を図りながら、小中一貫教育の視点から9年間の系統性を考えた「お弁当の日」が展開されるよう指導支援すること。
					1.7	2.0					
2	食育推進事業：学校給食における米飯給食の推進 担当課 学校健康課	宇都宮市立小・中学校	S52	米飯給食回数(回/週)	3.2	3.2	4,794	0	A		おいしいご飯を提供していくことはもとより、日本人の伝統的食生活の根幹である米飯を通じて、望ましい食習慣や食事マナーなどを身に付けさせていくため、自校炊飯校の計画的な拡大を図るとともに、関係機関等との連携のもとに米飯給食回数の拡大も検討するなど、米飯給食を通じた食育を推進すること。
					3.2	3.3					

様式 2

3	食育推進事業：学校給食における地産地消の推進		宇都宮市立小・中学校、地域	H14	学校給食における地場農産物使用率（野菜38品目及び米の使用率）（カロリーベース）（％）	84.3	84.6	5,871	0	A		学校給食における地産地消を推進することにより、児童生徒が、新鮮で安全な食を通して地域への理解を深め、郷土への愛情を育めるよう、各学校の取組を指導支援すること。
	担当課	学校健康課				83.8	84.0					
4	食育推進事業：生野菜・果物給食の推進		宇都宮市立小・中学校	H15	生野菜・果物給食実施校数（校）	93	93	0	0	A		食味・食感・香り・栄養・季節感など食材が持つ効果を活用し、児童生徒の望ましい食習慣を築くとともに、食に関する指導の充実を図るため、学校給食における生野菜・果物給食を推進し、更なる品目の拡大や二種類以上の生野菜を組み合わせる場合の衛生・調理方法等についても検討すること。
	担当課	学校健康課				93	93					
5	食育推進事業：学校給食における食物アレルギー対応の推進		宇都宮市立小・中学校に通う児童生徒	H17	食物アレルギー対応率（％） ※食物アレルギー児童生徒在籍校での対応実施率	100	93	0	0	A		食物アレルギー症状を有する児童生徒が、心身ともに健康な学校生活を営めるよう、学校・保護者・主治医の連携のもとに、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、「除去食」や「代替食」などの食物アレルギー対応食を可能な限り学校給食で提供すること。
	担当課	学校健康課				100	93					
6	うつのみや元気っ子プロジェクトの推進		宇都宮市立小・中学校	H18	新体力テスト総合評価のD段階以上の割合（中学校3年生）※新体力テストはA～Eの5段階で評価されている。	95.28	95.48	7,727	7,143	A		子どもたちの体力向上を図るためには、元気っ子健康体力チェックの実施や分析結果の活用、元気っ子チャレンジ参加者の増加および体力向上サポーター派遣回数数の拡大、日常生活における体力向上の工夫、「みや!! 元気っ子たいそう」の活用など、元気っ子プロジェクトの事業をさらに拡大させて取り組んでいくこと。
	担当課	学校健康課				94.43	95.15					
7	部活動の推進		本市立中学校の生徒	-	部活動地域指導者派遣者（人）	70	80	1,608	983	A		生徒がいきいきと活動し、教師が意欲的に指導できるよう、宇都宮市部活動推進計画「うつのみや部活動いきいきプラン」を策定し、「部活動指導者ハンドブック」や「部活動推奨リーフレット」を作成・配布したが、さらに地域指導者の確保などにより積極的に取り組むこと。
	担当課	学校健康課				73	82					
8	「宮っ子すくすくノーケータイプラン」の推進		宇都宮市立小中学校に通う児童生徒	H20	携帯電話のフィルタリングの設定率（％）	40	60	454	526	A		「小中学生への指導及び保護者への意識啓発の取組の着実な実施」、「社会全体の機運の高揚」、「関係団体との協働による取組」の推進の観点から重点的に取組む必要がある。
	担当課	学校教育課				67.8	71.9					
9	いじめゼロ運動の実施		宇都宮市立小中学校に通う児童生徒	H20	いじめ解消率（％）	93	94	2,160	2,052	A		児童生徒に「いじめは自分たちの問題である」との認識を高めさせるため、児童会・生徒会を中心とした取組を積極的に推進するとともに、市民の意識高揚や理解促進を図るため、いじめゼロポスター等による周知活動を推進する。
	担当課	学校教育課				98.3	97.4					
10	教育相談事業		宇都宮市内の幼児（年長児）、小中学生及びその保護者、教師等	S59	教育相談室で実施した延べ相談回数（回）	8,000	8,000	32,907	31,772	A		児童・生徒の健全な成長を支援するため、関係機関等と連携を図りつつ質の高い相談を維持するとともに効率的な運営に努め、本市の教育相談事業の中核としての機能を十分に発揮すること。
	担当課	教育センター				7,030	7,417					
11	心の教育推進事業		宇都宮市立小・中学生及び保護者、教師等	H13	スクールカウンセラーの派遣校数（校）	31	31	40,918	34,909	A		いじめや不登校等、児童生徒や教師等が抱える問題に対応するとともに不登校等の減少を図る上でも有効な事業であることから、学校へのスクールカウンセラーやメンタルサポーターの派遣を継続して行い、校内の教育相談機能の充実を図ること。
	担当課	教育センター				31	31					
12	適応支援教室事業		不登校の市内の小・中学生	H6	通級児童生徒の学校復帰率（％） （部分復帰や中学卒業後の進路決定を含む）	75	75	29,160	31,170	A		不登校児童生徒が、学校復帰や社会的自立に向けて新たな一歩が踏み出せるよう、在籍校と十分に連携を図りながら、一人ひとりの状況に応じた適切な支援・指導を行うこと。併せて、それぞれの役割に即した機能の充実と施設の整備を図るとともに効率的な運営に努めること。
	担当課	教育センター				71	73					
13	シックスクール問題対策の推進		宇都宮市立小中学校に通う児童生徒	H16	シックスクール問題対策マニュアルを活用した学校数	93	93	0	0	B		各学校及び教育委員会がシックスクール問題の原因となる化学物質の低減に努め、化学物質過敏症の児童生徒への対応や健康的な学習環境の整備など、シックスクール問題に対し適切な対応がとれるようにすること。
	担当課	学校健康課				46						
14	交通事故防止の推進		全小中学校93校の児童生徒	S40	新入学児童用ランドセルカバーの配布（校）	4,800	4,800	380	24	B		児童・生徒の交通事故は依然として多い状況にあり、生命に係る問題であるので、民間企業連携強化など交通事故防止に対する取り組みの一層の充実が必要不可欠である。なお、ランドセルカバーについては、公費負担を改め、民間の協力を得て事業を推進すること。
	担当課	学校健康課				4,906	4,882					
15	宇都宮・河内地区中学校体育連盟補助金		宇都宮・河内地区中学校体育連盟	S47	宇都宮・河内地区中学校体育連盟へ総会の参加（回）	1	1	3,193	3,193	B		中体連主催の大会を現在の規模で実施するために必要不可欠な事業であるため、今後も継続していくこと。
	担当課	学校健康課				1	1					
16	宇都宮小学校体育連盟補助金		宇都宮市小学校体育連盟	S48	宇都宮市小学校体育連盟事務局との打合せ（回）	2	2	2,972	2,972	B		小体連主催の大会を現在の規模で実施するために必要不可欠な事業であるため、今後も継続していくこと。
	担当課	学校健康課				2	2					
17	米飯給食（委託加工）事業補助金		炊飯を委託している各小・中学校の給食運営委員会	S53	補助の交付対象校（校）	77	76	172,604	169,740	B		炊飯方式の相違による保護者負担の給食費の差を縮小するため、当該補助事業を継続すること。また、平成24年度以降、自校炊飯校の計画的な拡大に伴う委託校の減少により、当該補助金の総額を抑制すること。
	担当課	学校健康課				77	76					
18	学校体育・保健・安全の推進		宇都宮市立小・中学校	S58	医師会、歯科医師会との打合せ（回）	2	2	468	388	B		児童・生徒の成長に専門的見地からの支援・助言等は欠かせないことから、今後も、医師会及び歯科医師会との連携・協力体制の強化を推進していくこと。
	担当課	学校健康課				2	2					
19	関東全国中学校体育大会宇都宮市選手派遣協議会補助金		宇都宮市立中学校運動部員	H14	関東全国中学校体育大会参加者（人）	250	250	2,428	2,178	B		関東・全国大会参加者の経費負担の軽減を図るため、今後も補助を継続すること。
	担当課	学校健康課				203	206					
20	給食費滞納対策事業		学校給食費を滞納している宇都宮市立小・中学校保護者	H19	収納率（％）	100	100	0	0	B		引き続き、現年度「滞納額0」を目標に各小・中学校の滞納対策本部を中心として滞納対策を行うこと。特に経済的理由による滞納者に対しては各小・中学校において積極的に就学援助・生活保護制度の利用を勧奨していくこと。さらに、学校との関係が希薄となる過年度分の卒業生の滞納を教育委員会が管理すること。
	担当課	学校健康課				99.65	99.74					
21	歯の健康教室		小学校3年生	H9	実施学校（校）	68	68	3,172	3,205	B		歯科医師会、歯科衛生士会、学校（教員）との間で共通理解が図られ、円滑に実施されている。歯磨きの技能習得等にも効果があり今後も継続して実施すること。
	担当課	学校健康課				68	68					
22	就学時健康診断等事業		次年度小学校就学予定者	S33	実施学校（校）	68	68	10,072	9,981	B		学校保健安全法で実施が義務付けられており今後とも継続して実施すること。
	担当課	学校健康課				68	68					
23	児童・生徒健康診断事業		市立小・中学校在学児童生徒全員	-	実施学校（校）	93	93	55,456	55,968	B		児童生徒の健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者の義務として明示されており、今後も継続して実施すること。
	担当課	学校健康課				93	93					
24	事故災害共済費		加入児童生徒	S53	小・中学校児童生徒加入率（％）	100	100	37,866	37,634	B		保護者に災害共済給付金の制度について理解していただき、全員に加入してもらおう努めること。
	担当課	学校健康課				99.10	99.32					

様式 2

25	性教育サポート事業		市内中学校3年生	H14	実施学校(校)	25	25	788	788	B		性教育は現代的な課題であり、産婦人科医会との連携を深め、更に充実させていくこと。
	担当課	学校健康課				25	25					
26	小・中学校体育活動の推進		宇都宮市立小中学校に通う児童生徒	S47	学校訪問指導(回)	93	93	1,390	1,374	B		新学習指導要領を踏まえ、体力向上、基礎基本の定着、評価方法の見直しなど、小・中学校体育活動の推進に取り組むこと。
	担当課	学校健康課				62	93					
27	栃木県中学校体育大会宇都宮市選手派遣協議会補助金		宇都宮市立中学校運動部員	S47	栃木県中学校体育大会宇都宮市選手派遣協議会総会参加(回)	1	1	14,024	14,024	B		中体連主催の大会における参加生徒の交通費を一部補助することは、保護者の交通費負担額を削減し、運動部活動加入率の向上にもつながるので、今後も継続していくこと。
	担当課	学校健康課				1	1					
28	文化関係各種大会参加補助金		関東大会及び全国大会に出場する小・中学校の文化関係活動団体	H4	参加団体数(団体)	13	13	1,600	1,600	B		関東大会及び全国大会に出場する小・中学校の文化部の児童生徒たちが、希望どおりに参加できる状態を目指す。
	担当課	学校教育課				8	7					
29	地域ぐるみの学校安全体制整備事業		全小学校	H17	スクールガードシステムの構築(校) ※H21はスクールガードリーダー訪問校数	68	68	1,326	0	B		学校や地域の実情に応じた取組みを強化させていく必要があるため、各小学校においてスクールガードチーフを選出し、本市独自の学校安全体制(スクールガードシステム)を構築していくこと。
	担当課	学校健康課				68	68					
再掲	平和親善大使広島派遣事業交付金		宇都宮市平和親善大使広島派遣事業実行委員会	H12	平和親善大使数(人)	25	25	-	-	-		戦争の記憶を風化させないよう、被爆体験等を若い世代に語り継ぐため、本市の中学生を平和親善大使として広島市に派遣することで、平和意識の高揚を図り、平和行政の推進に取り組む。
	担当課	行政経営課				25	25					
再掲	少年スポーツ指導者の育成		スポーツ少年団指導者	S48	研修会参加者数(人)	650	700	-	-	-		基礎的・専門的な内容の研修会を実施し、より質の高い指導者を育成することにより、少年スポーツ活動の充実を図る。
	担当課	スポーツ振興課				570	700					
施 策 事 業 費 合 計								433,338	411,624			